

第40回全日本教職員連盟 教育研究大会（宮崎大会）資料

第7分科会 特別支援教育

テーマ 「ビジョントレーニングの実践例」

～明日からでも使える自立活動の実践～



東京都教育研究連盟
青梅市立第二小学校
宮島 大輔

提 案 趣 旨

これまで発表者は、通常学級、特別支援教室、そして情緒固定学級と様々な学級で指導してきた。その中で学校生活に困難さを抱えている児童生徒の多くは、目で物を捉えること、見た物を正しく認識すること、体を自分のイメージ通りに動かしたりすることが苦手であったり、友達とのやり取りが下手であったりすることが多いと感じていた。

そのような児童生徒たちの生活面や学習面の困難さを改善するため、特別支援教室や特別支援学級では、「ビジョントレーニング」と「ソーシャルスキルトレーニング」を実施し改善を試みてきた。

「物が見えにくい」というと、近視や遠視など視力の問題と考える人が多い。しかし、視力検査では問題がないのに、音読をすると同じ行を読んでしまう、板書を写すのに非常に時間がかかる、文字が二重に見えるといった悩みを抱える児童生徒がいる。見るためには、視力だけではなく、見たものに視線やピントを合わせたり、形や色を見分けたり、また、見たものを脳で処理して体を動かしたり、様々な能力が必要である。これらすべての「視覚機能」が正常に働いてはじめて、ものを正しく、はっきりととらえることができる。ここでは、視力検査では問題がないのに「物が見えにくい」という困難がある児童生徒に行ってきた、「ビジョントレーニング」の具体的な指導例を紹介する。

「ソーシャルスキルトレーニング」では、主に自立活動の中で行ってきた「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「コミュニケーション」などを中心に、学校生活を円滑にするために必要な人間関係の形成を促すトレーニングや、コミュニケーション育成のトレーニングを紹介する。

構 成

・ビジョントレーニングのアセスメント

- ① 指導方法や内容を決めるためのアセスメント
- ② アセスメントから分かる「見え方のつまずき 3つのパターン」

・ビジョントレーニングの紹介と実践例

- ① ナンバー紙コップ
- ② 新聞たたき

・ソーシャルスキルトレーニングの紹介

ゴムゴム UFO キャッチャー

指導方法や内容を決めるためのアセスメント

一般的な眼科の検査で視力や眼の病気に問題が無かった場合、見る力を調べるアセスメント（見立て）を行うことが指導の第一歩になる。

専門家が行う「視覚機能検査」として

・「DEM」

跳躍性眼球運動の正確さを測定するテスト

・「MVP T-Ⅲ」

複数の図形を使って、形の分類、図と地の区別、形の短期記憶を調べる検査

・「視覚認知検査WAVES」

視覚機能を総合的に調べて総合指数を算出し、同年齢の子どもとの比較ができる検査などがある。

しかし、それらの検査はある程度の熟練が必要になるため、ここでは簡易的なアセスメントの方法を紹介する。

簡易的なアセスメントの例

- ・眼球運動を見るテスト（追従性眼球運動、跳躍性眼球運動、輻輳・開散）
- ・まねっこジャンケン
- ・形うつし、点つなぎのテスト



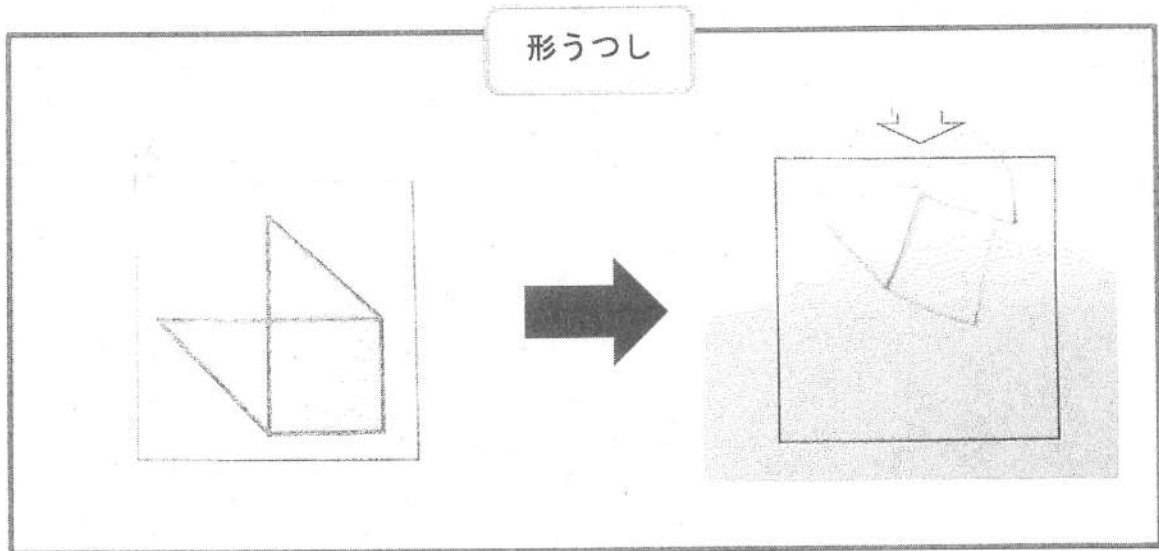
※ポイント

- ・目を動かさず、頭を動かす。
- ・一点を見つめることができない。
- ・目が不自然に揺れる。



ポイント

- ・同じ動きを真似できない。
- ・後だしジャンケンでうまく勝てない（もしくは負けることができない）。



※ポイント

- ・線がまっすぐ引けない。
- ・枠からはみ出す。
- ・正確だが、1つの図形を描くのに時間が掛かりすぎる。

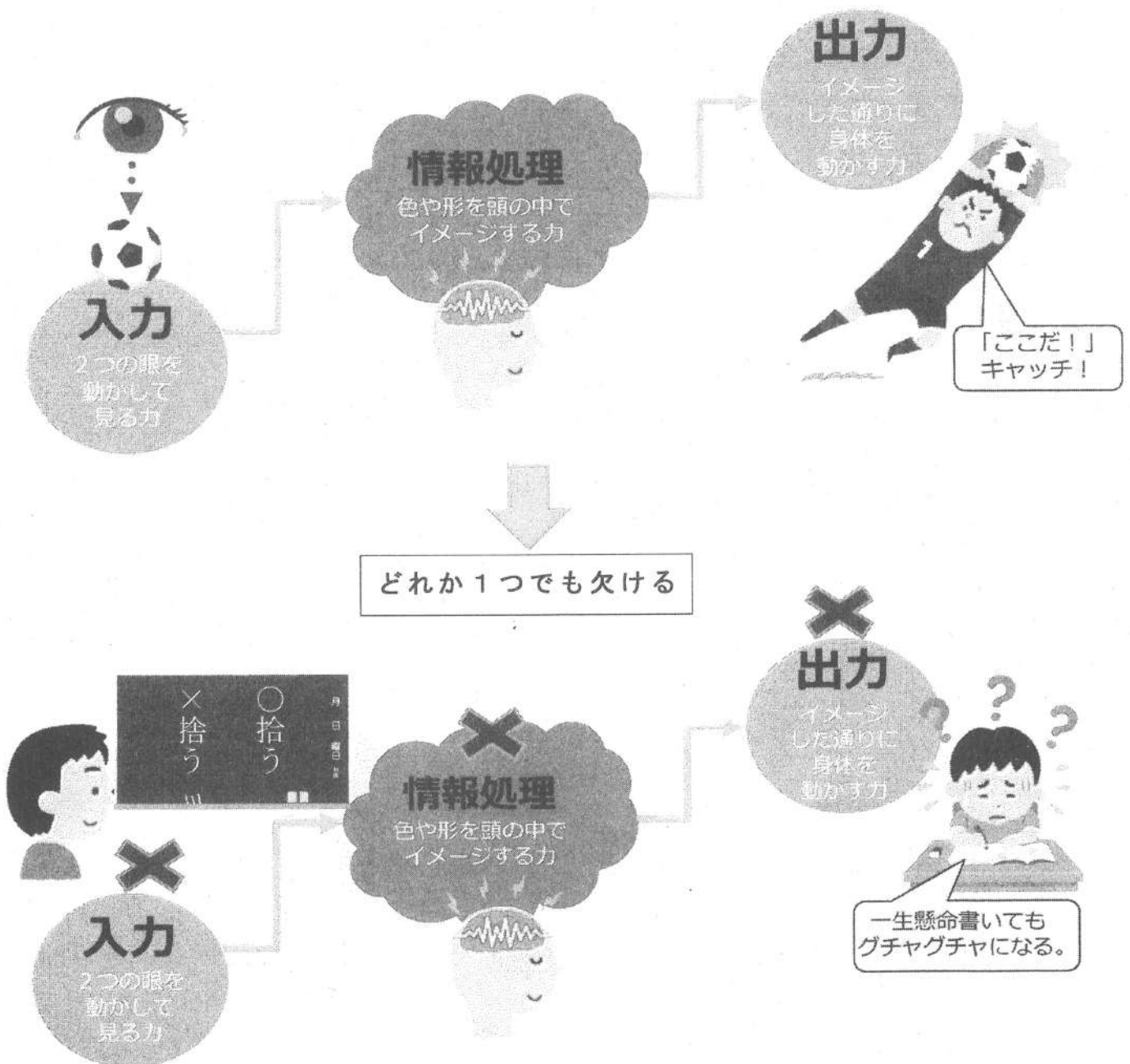
アセスメントから分かる「見え方のつまずき 3つのパターン」

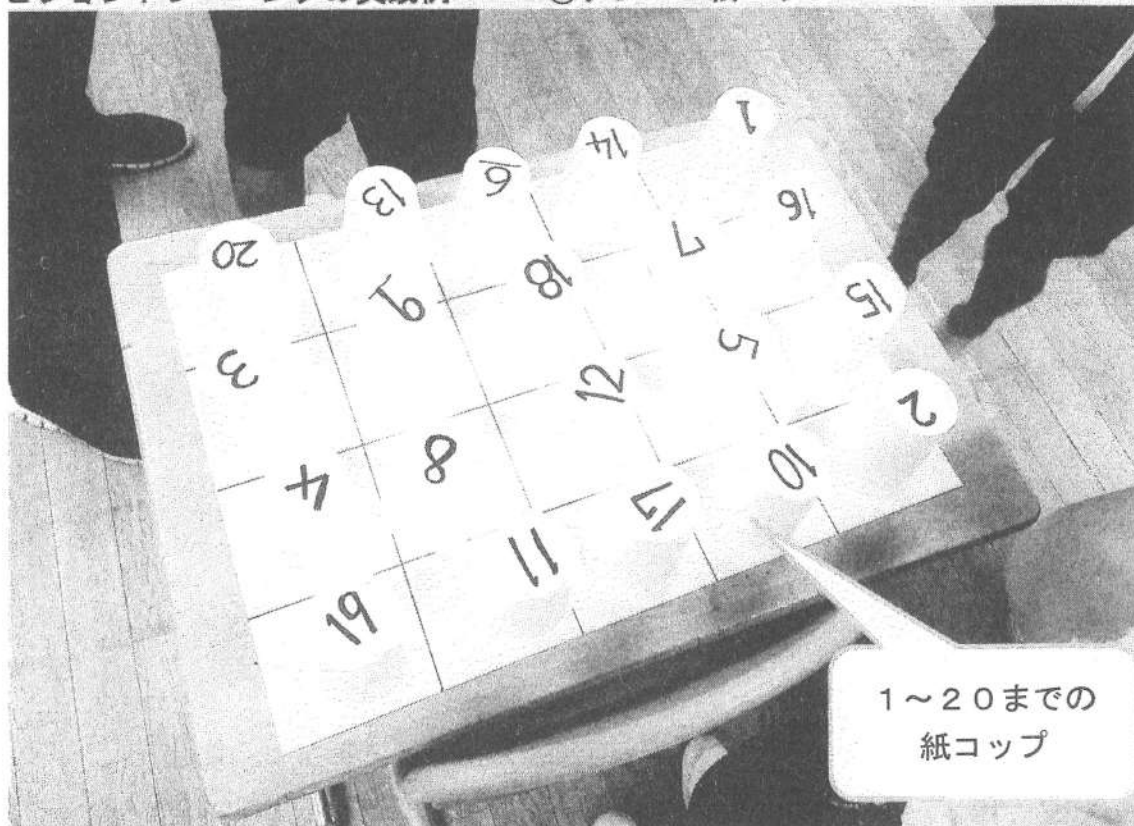
見え方の困難さの3つのパターンとして「入力」「情報処理」「出力」の3つのうちいずれかに困難がある場合が見られる。

ビジョントレーニングで考える視覚機能は、下記の図のように「入力」→「情報処理」→「出力」の3つのプロセスに分けられて考えられている。

下記の例は、「ボールという物を2つの眼を動かして見る、入力」そこから「色や形、大きさ、速度などを頭の中で考える、情報処理」そして「見た物に対してイメージした通りに身体を動かす、出力」という3つのプロセスを示している。

このプロセスのどれが欠けても「見ることの困難さ」が生じると言われている。



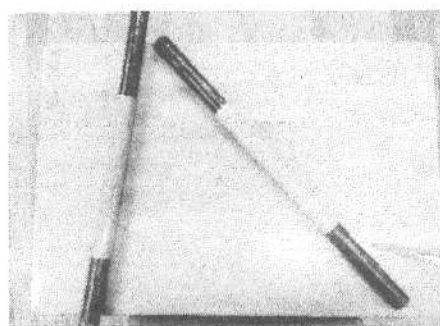


1~20までの
紙コップ



順番に素早く集める。

タイムの計測

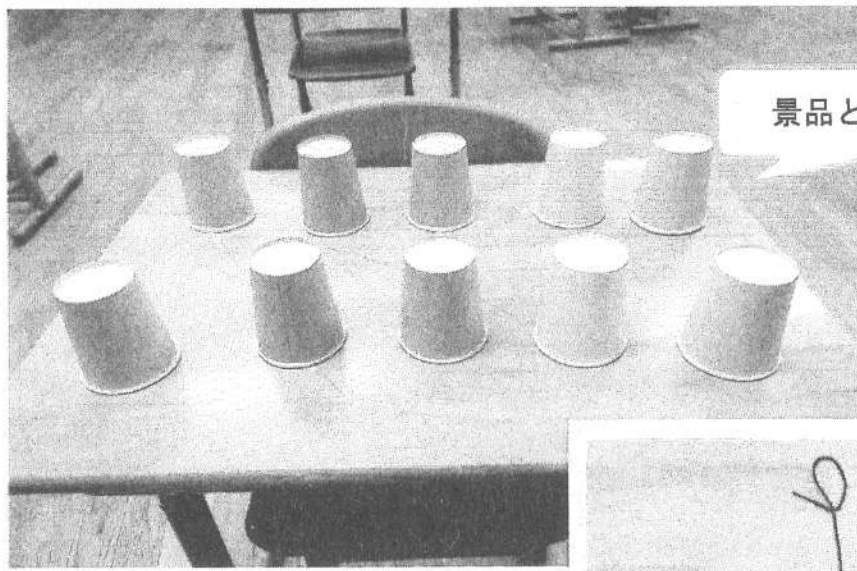


赤と青の色が付いている新聞の棒

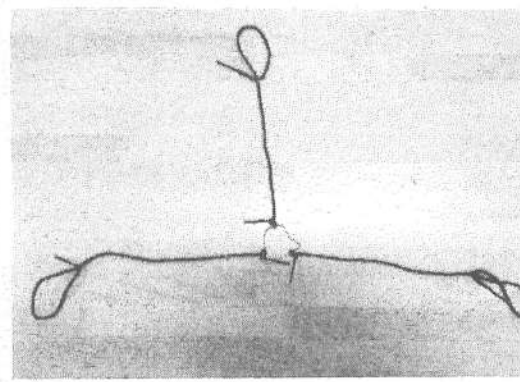


相手が出す棒の色に合わせてタッチする。

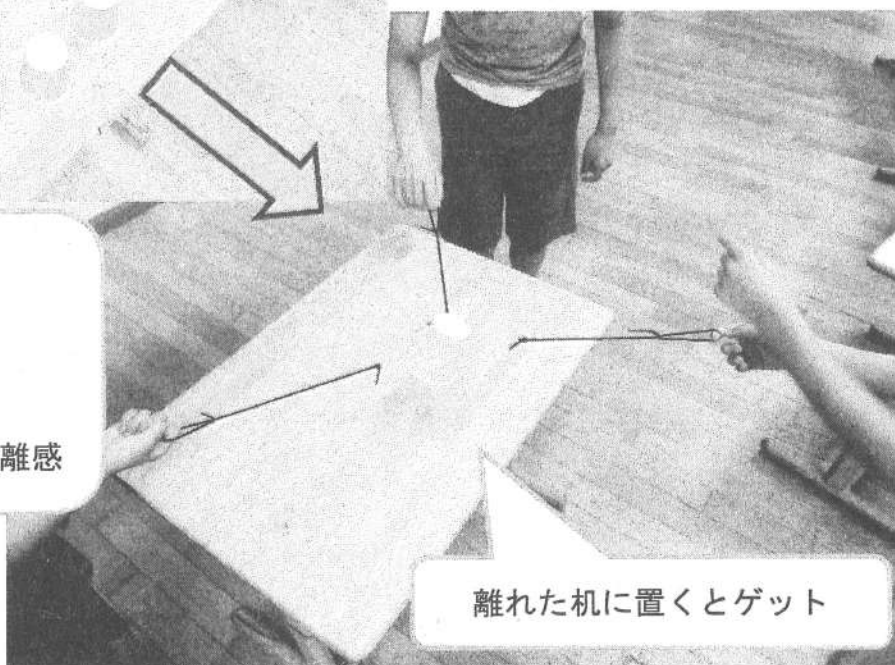
ソーシャルスキルトレーニングの紹介 ゴムゴム UFO キャッチャー



景品となるコップ



息を合わせてキャッチ



離れた机に置くとゲット

鍛えたい力

- ① 勝ち負けの課題
- ② 気持ちの切り替え
- ③ 他者との調整力
- ④ 物の位置を捉える距離感